

マンションは地震に強い建物

地震などの災害に強い建物かどうかは、基礎がどのようになっているかで大半が決まるといってよいでしょう。

戸建て住宅の基礎は、通常は地中に数十センチ入っているだけの「浮き基礎」といわれているもので、大きな地震には数メートルも移動することがあります。

ところで、本マンションの基礎はどのようになっているかご存知でしょうか？

私たちが目にするのは敷地や建物で地中がどのようになっているか、考えたことがない

のが実際のところですよ。まず、地盤ですが敷地の数メートル下は土の部分ですが、その下は

水と泥が混じったシャーベット状の地質になります。さらに下には水の部分となり、岩盤は

実に敷地面から47メートルのところになります。これは、マンションの高さの1.5倍です。

建物の下には地中梁というコンクリートの基礎がありますが、地下50メートルほどの下には

コンクリートパネルが69本ほど施工し、岩盤の中にも数メートル食い込んでいるわけです。

この地方は、あまり地盤が良くはありませんが、しっかりした基礎工事になっていると

思われます。おそらく、町内一、安全な建物といえます。

なお、共用館は2階建てのため浅い基礎になっています。